

## 山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	脳卒中の医療体制の整備のための研究 (J-ASPECT study)
該当者	脳卒中に関連する疾患で入院し治療を受けた患者さん
当院の研究責任者	脳神経外科 熊谷 孝
研究代表者	九州大学院医学研究院 脳神経外科 飯原 弘二
本研究の目的	超高齢化社会の本邦において寝たきり状態などの後遺症の原因となる脳卒中治療は大きな課題です。脳卒中の急性期治療を適切に行うためには、地域特性に応じて整備された脳卒中治療施設が必要です。本研究は、日本全国の脳卒中施設の施設情報や診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、適正な脳卒中施設の配置について提言を行うことが目的です。
実施予定期間	2017年4月～2020年3月の期間に治療を受けた上記の方
研究の方法	該当となる入院DPCデータ、外来レセプトデータから、疾患名、治療内容、治療成績や予後などについての情報を得ます。個人情報を除いた全国の施設のデータが集約され様々な項目に関して解析されます。救急搬送時間と予後との関係や、脳卒中専門医の配置必要数、高度な治療が行える包括的脳卒中センターを含む医療体制の整備に向けた検討が行われます。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	患者さんの疾患名、治療内容、治療成績や予後を示すDPC データ
外部への試料・情報の提供・公表	研究代表者に提供し保管されます。
個人情報の取扱い	レセプトデータから、氏名、被保険者番号など個人を直接特定できる情報を匿名化して提出します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	脳神経外科 熊谷 孝、脳神経内科 永沢 光 023-685-2626